大阪府生活協同組合連合会
〒542−0012大阪市中央区谷町7−4−15 大阪府社会福祉会館内
tel.06-6762-7220　fax.06-6762-7296
URL：http://osaka-union.coop/

会報

KAI-HOU

2024年能登半島地震第１回ボランティアバス

No.369
2024.3.15

[開催報告]	2023年度第４回理事会	1
[開催報告]	創立70周年記念式典	2
[開催報告]	2023年度大阪府消費生活協同組合優良役職員表彰	5
[開催報告]	2024年能登半島地震第１回ボランティアバス	7
[開催報告]	OCoNoMi おおさか若手職員合同研修	9
[参加報告]	第31回ワン・ワールド・フェスティバル	10
[連　　載]	「サラダボウル〜ひとりひとりが輝いて」	11
[スケジュール]		13

大阪府生協連　2023年度第４回理事会開催報告

開催概要

Ⅰ．日　　時　2024年１月18日（木）
　　　　　　　10時30分～11時15分
Ⅱ．場　　所　都シティ大阪天王寺　５階信貴の間
Ⅲ．出 席 者
　⑴　理事（総数22名中、18名出席、４名欠席）
　⑵　監事（総数３名中、３名出席）
　⑶　オブザーバー
　　（総数２名中、１名出席、１名欠席）
　⑷　陪席（１名出席）
　　・事務局長　小山正人
Ⅳ．議　　長　タン会長理事
Ⅴ．議事の経過と要領とその結果

審議事項

1　第63回通常総会の件

小山事務局長より、議案書１次案として2023年度活動報告及び2024年度方針案について提案がされ、別途意見集約し、次回理事会で２次案を審議する旨提案がされた。

また、各分野別概況の原稿執筆を担当する理事等について提案がされた。

討議の結果、提案の通り、全員異議なく承認された。

2　2024年度年間日程（第２次案）の件

小山事務局長より、2024年度年間日程（第２次案）について提案がされた。

討議の結果、提案の通り、全員異議なく承認された。

3　2024年能登半島地震被災地支援の件

中村専務理事より、2024年能登半島地震の発生を受け、被災地支援に取り組む旨提案がされた。

討議の結果、提案の通り、全員異議なく承認された。

4　福島の子ども保養プロジェクトへの参加要請の件

中村専務理事より、福島県生協連からの要請を受け、2024年３月９日（土）、10日（日）に、福島県で開催する「福島の子ども保養プロジェクト」において、たこ焼き交流を実施する旨提案がされた。

討議の結果、提案の通り、全員異議なく承認された。

5　おおさかパルコープからの「新たな子ども食堂フードバンク法人化設立」に向けた要請の件

中村専務理事より、おおさかパルコープからの要請を受け、大阪府下での新たな子ども食堂フードバンク法人の設立にあたり、設立の呼びかけ団体および設立準備会への参加と、法人設立後の正会員加盟する旨提案がされた。

討議の結果、提案通り、全員異議なく承認された。

なお、同様に要請を受けた、大阪いずみ市民生協、大阪よどがわ市民生協の状況等について、勝山副会長理事、貫理事より報告があった。

6　理事の辞任の件

中村専務理事より、木村理事の所属生協、大阪きづがわ医療福祉生協の役員辞任に伴う大阪府生協連理事の辞任について報告がされた。

同生協には、理事会にオブザーバー出席する旨提案がされた。

この件について、全員異議なく承認された。

報告事項

報告事項に関して下記の報告がされ、全員異議なく、承認された。

報告事項
【大阪府生協連】
１．大学生への食の支援第８弾
２．各委員会
⑴　生協大会実行委員会
⑵　健康チャレンジ実行委員会
【日本生協連、他生協等】
３．日本生協連全国方針検討集会
【会員及び友誼団体等】
４．消費者支援機構関西（KC's）
５．なにわの消費者団体連絡会
６．全大阪消費者団体連絡会
７．OCoNoMi おおさか
８．ホッとネットおおさか（大阪府下避難者支援団体等連絡協議会）

創立70周年記念式典を開催しました

１月18日（木）、ホテル都シティ大阪天王寺にて、大阪府生協連の創立70周年記念式典を開催しました。大阪府、日本生活協同組合連合会をはじめ総勢145名にご出席いただきました。

お昼12時に開会、はじめに能登半島地震でお亡くなりになられた方々を悼み黙祷を捧げました。タン会長理事から開会のご挨拶を述べた後、ご来賓の大阪府府民文化部男女参画・府民協働課長 三和理恵子様、堺市市民人権局 生活部長 浅田典子様をご紹介し、代表して大阪府の三和課長から大阪府知事のメッセージをご紹介いただきました。

続いて、日本生活協同組合連合会 会長理事　土屋敏夫様から、生協をめぐる状況など、ご挨拶とご報告を賜りました。

乾杯のご発声は、大阪労働者福祉協議会の田中宏和会長から、能登半島地震の被災地を支援することを誓い、杯をあげました。

その後は、食事を召し上がりながらの進行で、日本センチュリー交響楽団の弦楽四重奏によるミニコンサート、友誼団体からのお祝いのスピーチを、大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会（OCoNoMiおおさか）会長　栗本修滋様（大阪府森林組合 組合長）、近畿地区生協府県連協議会 会長　岩山　利久様（兵庫県生協連会長理事、コープこうべ組合長）、消費者支援機構関西 理事長 西島秀向様（京都府生協連 会長理事）の三名から頂戴しました。

70年を振り返る映像を上映した後、歴代の役員を代表して、元副会長理事の藤井克裕様、元専務理事の安本正男様からご挨拶を頂戴しました。最後に、勝山副会長理事からの閉会のご挨拶と一本締めにて閉会しました。

【タン会長理事からの開会のご挨拶】

大阪府生協連会長を務めています、タンミッシェルです。開会にあたりひと言ご挨拶申し上げます。

まず、本年１月１日、石川県能登地方を震源とする地震が発生し、大きな被害となっています。お亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。日本生協連等の各団体はいち早く現地での支援活動を始められ、被災地募金も全国で呼びかけられています。大阪府生協連は全国の生協と協力し、被災地支援の活動を進めてまいります。

あらためまして、本日はご多用にもかかわらず、大阪府生協連の70周年記念式典にご出席たまわり、壇上からではございますが、お礼申し上げます。ありがとうございます。

70周年を迎えることができたのも、大阪府をはじめ行政の皆様、友誼団体や関係者の皆様、協同組合、非営利協同セクター、日本生協連や、各都道府県生協連など、全国の生協の仲間、そして会員生協の皆様の、絶え間ないご支援と、ご協力によるものと感謝いたします。

大阪府生協連は、1953年に７つの地域生協によって設立され、1960年に職域生協が中心のも

う一つの連合会と合併し、最大379生協の名簿があったそうです。その後、合併、解散、新規加入を経て、現在、会員は地域生協は10生協、医療生協は７生協、大学生協は12生協、職域生協は２生協、共済生協は２生協の合計33生協となっております。会員生協のご紹介は、本日お配りしております、70周年記念誌を、ご参照ください。

生協は、いつの時代でも、その時々の社会情勢の中で、組合員、消費者のくらしによりそい事業と活動をすすめてきました。そして、地域福祉にかかわる、さまざま団体との連携を広げ、地域課題に取り組んでまいりました。

日本は、人口減少と、少子・超高齢化社会が進み、経済、労働、社会保障、医療介護、教育など、さまざまな分野に影響を及ぼしています。また、貧困・格差社会がますます広がっています。

また、ロシアによるウクライナ侵攻は、出口の見えないまま３年目に突入しようとしています。去年の秋には、イスラエル軍はハマスによるテロ行為への対応として、パレスチナ自治区ガザ地区を攻撃し、国際人道法を無視し、多くの子どもを含む市民が巻き込まれた過去に例を見ない無差別攻撃に対して、世界中から批判が上がっています。一刻も早い人道支援と戦争の終結が求められます。

円安により、食品価格は大幅に上昇し、家計への打撃も長期化しており、食糧危機、気候変動など、地球温暖化の進行は「気候危機」とされ、課題が、山積しています。

昨年11月に開催された、国連総会で、2025年を、2012年に続き２回目の、国際協同組合年とすることを宣言しました。協同組合の取り組みを、更に広げ、SDGsの実現にむけた協同組合の実践と、社会や経済の発展への協同組合の貢献に対する認知を高めるために、国連、各国の政府、協同組合が、この機会を活用することを求めるものです。2024年は、その準備の年となります。

大阪府生協連は、引き続きSDGsが目指す「誰 一人 取り残さない」地域社会の実現と多様性と平和で持続可能な、暮らしやすい社会の実現に向けて、今後も、地域社会を構成するさまざまな団体、全国の生協、会員生協と協力し、活動を進めます。今後も変わらぬご協力ご指導をお願いいたします。

能登半島地震　被災地の復旧、復興と、本日お集まりの皆様のご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とかえさせていただきます。本日、ありがとうございます。

司会　中村専務理事

能登半島地震　犠牲者へ黙祷

開会のご挨拶　タン会長理事

来賓ご挨拶　大阪府　三和課長

ご挨拶とご報告
日本生協連　土屋会長

能登半島地震の被災支援を誓い
大阪労福協　田中会長

日本センチュリー交響楽団
弦楽四重奏

スピーチ
OCoNoMi おおさか　栗本会長

スピーチ
近畿地区生協府県連協議会　岩山会長

スピーチ
消費者支援機構関西　西島会長

映像で振り返る「70年の歩み」

歴代役員挨拶　藤井元会長理事

歴代役員挨拶　安本元専務理事

閉会のご挨拶　勝山副会長理事

大阪府消費生活協同組合優良役職員知事表彰
授与式が開催されました

２月14日（水）、今年度の「大阪府消費生活協同組合優良役職員知事表彰」の授与式が、大阪府府民文化部男女参画・府民協働課の会議室にて実施されました。

会員１生協からご推薦いただいた２名と、会員外の生協から２名が授賞されました。

各受賞者の生協の発展に寄与された功績に敬意を表しますとともに、皆様のますますのご活躍をご期待します。

【会員生協の受賞者】

大阪いずみ市民生活協同組合　　榎本　雅秀さん

大阪いずみ市民生活協同組合　　小路　治美さん

後列左から、タン会長、増田次長（大阪府府民文化部）、三和課長（大阪府男女参画・府民協働課）
前列左から、榎本さん（大阪いずみ市民生協）、その他のお二人は会員外の大阪府民共済生協の受賞者
※小路さん（大阪いずみ市民生協）はご都合によりご欠席されました。

◇◇◇

〈受賞者紹介およびご本人からのコメント〉

大阪いずみ市民生活協同組合
榎本　雅秀さん

宅配部門では、1988年７月に入協後、配送担当として、基本業務、組合員活動等について習得。2009年１月からは副センター長としてセンター全体のマネジメント、事業達成への貢献、人材育成に貢献し、宅配の事業部門を支えた。組合員活動部門においては、1994年８月より組合員活動を担う本部部署でスタッフとして着任し、組合員の自主、自発的な活動の支援、企画を行い、生協の活動の理解を広めるために大きく貢献した。2002年３月、組織スタッフとして、地域での活動に尽力いただきました。又、2001年２月から労働組合の中央執行委員長として活

躍されました。2017年12月からはエネルギー営業所長を歴任。事業推進に貢献いただきました。2023年９月から、おむつ配達の見守り定期便のリーダーとして立ち上げに貢献する。

【ご本人からのコメント】

この度は、優良役職員表彰を頂戴し誠にありがとうございました。

今から36年前、おもしろい活動をしているところだなあと、興味を持って入協したことを思い出します。配送担当者を経て、組合員活動、広報室、営業や共済のスタッフ、配送センターの管理者や電気の営業、労働組合の専従などもさせていただきました。

苦しいときもありましたが、いっしょに働いている仲間や組合員にも励まされ、ここまで続けてくることができました。

くらしに笑顔をお届けします。今後も地域になくてはならない生協として、ひとりでも多くの方に喜んでいただける組織を目指して奮闘してまいりたいと思います。

大阪いずみ市民生活協同組合
小路　治美さん

店舗部門では、1985年３月に入協後、店舗スタッフとして着任。基本業務、接客等について習得。配送センターの実務、本部での給与計算部署を歴任後、1992年４月に店舗運営部に着任。1998年７月から店長として地域密着型の店舗展開、事業回復に向けた取り組みに尽力する。

宅配部門では、2011年１月より配送センターの営業スタッフに着任。2012年１月からは営業リーダーとして、常にトップクラスの実績で、事業達成に貢献する。また、2017年４月からは、新たな営業形態として新設された、イベント営業チームに着任。新部署に置いても、トップクラスの実績を維持し、後任の育成にも尽力する。

【ご本人からのコメント】

この度は、優良役職員知事表彰を頂き、誠にありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。誠に恐縮でございます。

いずみ市民生協に入協して39年、定年を迎える年にこのような表彰を頂き、本当に感慨深い思いです。今思うと社会人として右も左も分からない20歳の頃から、いろいろな多くの事を経験させて頂きました。決して楽しいことばかりでは、ありませんでしたが、その都度、職場の仲間や家族、組合員さんに支えて頂き、技術や知識だけでなく、人としても成長させて頂けたと思います。

今回の受賞もひとえに、このような私に関わって下さった皆様のおかげに他なりません。39年間お世話になった全ての皆様、そしてこの度の表彰に対して改めてお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

能登半島地震で被害を受けた能登町でボランティア炊き出し活動を実施しました

今回は緊急な開催であったため、会員生協の常勤役職員に限定しボランティアを募集したところ、24名からの応募があり、事務局２名と和歌山県生協連の事務局を合わせた27名で石川県に向かいました。今回の炊き出しは、昼と夜の２回実施のため、機材、食材が多く、バスとは別の運搬用車両を、おおさかパルコープの２名に運行をお願いしました。

２月16日（金）の22時に、大阪駅周辺の集合場所から出発し、翌17日（土）の朝６時過ぎに、能登町役場に併設している“コンセールのと”に到着しました。目的地に着くまでには、石川県に入ると道路状況が悪いところが多々あり、ジェットコースターのような段差をバスの中で体験しました。

８時から、参加者を４つのグループに分け、リーダーと記録係を決めて、早速昼の「きつねうどん」と「コーヒー」の準備を始めました。今回の炊き出し活動のことを、富山県生協連にお話しますと、「きつねうどんに、炊き込みご飯あったほうがいいのでは？」と、富山県生協連、とやま生協からも６名に参加していただき、炊き込みご飯のレパートリーが増えました。当初12時から開始の予定でしたが、早めにみなさんが集まって来られましたので、時間を早め11時から開始しました。

また、炊き出しの横では、NPO法人リエラさんからの物資（洋服、下着、オムツ、生活用品）を並べ、無料でご提供していると、「何もないので助かります」と、自分に合うサイズの服などを探して持って帰れられていました。炊き出しの「きつねうどん」「炊き込みご飯」は、その場では食されずに、避難所やご自宅へのお持ち帰りがほとんどでしたが、「美味しかった」「久しぶりに温かいものを食べた」などお声が寄せられました。

いっときに30人ほどの行列ができた際に飲んでいただいた「コーヒー」も、「ほんと温まる」「ほっとした」とのお声を寄せられました。お昼では、きつねうどん450食、炊き込みご飯500食、コーヒー300杯をご提供し大変好評でした。

昼の炊き出し終了後には、レンタカー２台に分乗し、能登町被災地の視察を、日本生協連の文珠さんのご案内で実施しました。実際の被害の状況や、地域の様子を見、説明を聞くことで、参加者からは「現地に行かないとわからない事、気づかない事、感じない事を肌で体感する事が出来ました」という感想が寄せられました。

昼食後、夜の炊き出し会場の、「イカの駅つくモール」へ移動し準備を始めました。つくモールは、地震の影響で閉鎖されていましたが、別府温泉の方々からの支援で、住民のためのテント銭湯が設置されており、入浴される方が何人か来られていて、「何の炊き出しをするの？」と聞きに来られました。

炊き出しの開始予定時間は、17時30分からでしたが、何人か早めに並ばれたので、16時30分から、「たこ焼き」「豚汁」「コーヒー」の炊き出しを行いました。たこ焼きは１パック５個入りで、お一人３パックとしましたが、17時30分頃には、100人以上の行列ができたために、１人１

パックに変更してご提供しました。せっかく来ていただいた方に申し訳ないことをしました。
豚汁は、お鍋で持って帰る方も何人かおられ大変好評でした。夜になると気温も下がるので、温かいコーヒーも喜ばれました。夜の炊き出しでは、たこ焼き500パック、豚汁500食、コーヒー200杯をご提供しました。
片づけ終了した後、バスの中で晩御飯のお弁当を食べ、１日の感想交流し、入浴して大阪への帰路につきました。18日（日）の朝６時過ぎに大阪駅周辺に到着して解散しました。
０泊３日の弾丸ボランティアバスでしたが、よい天気にも恵まれ、能登町のみなさんに笑顔をお届けできたと思います。長く支援が必要だと思います。これからも大阪からできる支援をしていきます。

〈参加者の感想より〉

- テレビ、メディアでの報道も１月に比べると格段に減る中、現地では震災直後から変化していない状況について、とても衝撃を受けました。そのまま放置されている家屋も多々あり、あらためて支援活動が遅れている現状を目の当たりにしました。支所に持ち帰り共有もしていきたいと思います。
- ところどころで家が倒壊していて、また松波地域では津波の被害もあり、悲惨な状態を目の当たりにしました。それでも能登エリアはまだ被害が少ない方だと思うので、珠洲や輪島はどうなっているんだろうか？と想像に堪えません。
- あれだけたくさんの人に並んでいただき、無我夢中でした。初めて炊き出しをさせていただきました、みなさんから「ありがとう」の言葉をいただき、すごく元気をいただきました。
- 炊き出し情報が口コミやSNSで広がっているとの事で多くの方に足を運んで頂けたことは良かったと思いますが数量制限せざるを得なかった事は残念です。現場で瞬間的に判断しないといけない事も多かったですが参加者の被災者の立場に立った想いの中で『より温かいものを』『よりお好みの味で（しょうが入りとしょうが抜き）』などが実現できたことは目的を同じくした者同士、や協同組合の考えからあるのでは、とも思いました。
- 炊き出しでは、「わざわざ大阪から？本当にありがとうございます。うどん美味しかったです。」「やっぱり大阪のたこ焼きは格別や」と感謝の言葉をいただき、こちらが恐縮してしまう感覚でした。たこ焼きが途中でなくなってしまったのは申し訳なく思いました。

昼の炊き出し

夜のたきだし

OCoNoMi おおさか
若手職員合同研修を開催しました

２月27日（火）に、OCoNoMi おおさか（大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会）若手職員合同研修を開催し、10団体29名の次代を担う若手職員が参加しました。

OCoNoMi おおさかの栗本修滋会長（大阪府森林組合　代表理事組合長）からの開会のご挨拶の後、関西大学商学部教授で日本協同組合学会会長の杉本貴志様を講師に、「協同組合・非営利協同セクターの社会的意義と役割」と題して講義をしていただきました。杉本先生からは、「21世紀は協同組合の時代」「協同組合と営利企業。実際には同じもの？」「原点としてのロッジデール」「奇跡をもたらした原則」「20世紀型協同組合の躍進」「協同組合間協同とコミュニティへの注目」「取り残される日本の協同組合」「コミュニティの協同運動へ」の項目で約60分お話いただきました。

講義の後には、グループワークで、「あなたの所属する団体が目指す世界をひと言でいうと」「あなたが考える OCoNoMi おおさかに加盟する団体が協力して解決すべき社会課題はこれ！その理由は？」をテーマに交流しました。

各グループからの報告を受け、杉本先生に講評いただきました。

最後に、研修を通した「気づき・まなびはコレ！」「今日からやること宣言はコレ！」を用紙に記入し終了しました。

開会挨拶（栗本会長）

講義（杉本貴志教授）

グループワーク

グループ報告

第31回
ワン・ワールド・フェスティバルに参加しました

西日本最大級の国際協力のイベント「第31回ワン・ワールド・フェスティバル」が、２月３日（土）・４日（日）に、今回から会場を梅田スカイビルに変更し開催されました。

大阪府生協連が参加するOCoNoMiおおさか（大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会）ではブースを出展しました。

ブースでは、OCoNoMiおおさか構成団体のSDGs活動を紹介するクイズと、体験企画として、一日目は「お米重量当て」「VR災害体験」を、二日目は「樹木樹齢当て」「模擬紙幣枚数当て」を実施しました。クイズと体験企画の参加者には、NPO法人大阪府海域美化安全協会から、ご提供いただいた「海辺の生き物消しゴム」などをプレゼントしました。ブースには二日間で約350人が立ち寄っていただきました。

サラダボウル
～ひとりひとりが輝いて～

大阪いずみ市民生協堺東本部に訪問して

コープこうべ組合員
理事　西田紀子

２月７日（水）大阪府連ジェンダーフォーラム協議会の皆様と大阪いずみ市民生協に訪問し、男女共同参画委員会を見学させて頂きました。
男女共同参画委員会を20年前から毎月、理事会の諮問機関として開かれています。

① 職場に活気
② 家庭生活の充実
③ 地域力の向上・地域コミュニティ強化

を目的としてこれからは、社会の変化を意識した学習、提言に、必要な課題の把握、理事会への政策提言や問題提起、風土づくりの下支えを行っていく。

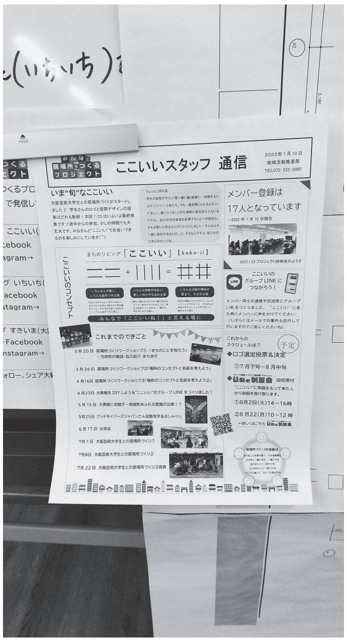
◆認知症について
この日は、まず「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が、2024年１月１日に施行されたことから話し合い、経験談や医療生協での認知症の実態など情報を共有しました。2025年には、700万人に達すると言われている認知症の人の増加。みんなが認知症に関する正しい理解をし、認知症でも希望を持って暮らせるように新しい認知症感を持つことが大切であることを知りました。人によって症状は違い、周りの人の理解や助けが必要で自分が認知症になった時のことも考えておくべきであると思いました。

◆ウエルビーイングについて
次に、Well-being 良好な状態（誰もがひとりの人として尊重され、お互いに認め合える身体的・精神的・社会的に良好な状態）の講演会をすることになり、それぞれ委員会の方が、ウエルビーイングについての講演会の講師の方を調べてこられました。次回ウエルビーイングとは、何か？を学ぶところから、講師の方をお願いされることになりました。

◆大阪いずみ生協の居場所作りについて

「みんなで居場所をつくるプロジェクト」を掲げて、現在堺市（ここいこ）、八尾（いちいち）、大阪狭山市（すきいま）の３か所でつながりのある町づくりとして居場所づくりを行っておられます。

私たちが訪問した堺市の「まちのリビングここいい」は、入るとすぐに「ここいいね！」と言える壁一面を黒板にして自由に描けるところや絵本コーナーなど優しい空間だと思いました。そういう部屋の中で、会議に参加させて頂き、懇談をさせて頂きました。



スケジュール

3月

1日㈮　健康チャレンジ実行委員会
4日㈪　第1回生協大会実行委員会合
5日㈫　OCoNoMi おおさか第23回幹事会
6日㈬　第2回組合員活動交流会
6日㈬　第5回組織活動委員会
7日㈭　防災セミナー「災害への備え（地震・津波）」
7日㈭　ボランティア養成講座
8日㈮　福島子ども保養プロジェクトたこ焼き支援（～10日）
13日㈬　第3回文楽・コンサート実行委員会
14日㈭　第5回理事会
15日㈮　第3回近畿地区生協府県連協議会
15日㈮　能登半島地震第2回ボランティアバス（～17日）
21日㈭　アンコンシャス・バイアス学習会
27日㈬　消費者支援機構関西（KC's）理事会

4月

5日㈮　健康チャレンジ実行委員会
10日㈬　第3回文楽・コンサート実行委員会
17日㈬　第2回生協大会実行委員会

5月

10日㈮　健康チャレンジ実行委員会
16日㈭　第6回理事会
22日㈬　第3回生協大会実行委員会
22日㈬　第6回組織活動委員会